

ご寄付ありがとうございます

◎大阪府共同募金会

「令和6年度 地域の子どもの福祉のための助成事業」



玩具セット



「新版K式発達検査2020」
検査用具一式



◎公益社団法人 母子保健推進会議 様
おしりふき ガーゼおくるみ



城東フードバンク
無料市場



Pigeon
A型ベビーカー



オープンレンジ



洗濯機



哺乳瓶保管庫



玄関門扉錠工事



◎花王株式会社 様
ビオレハンドソープ アタック ZERO
メリーズパンツ 折り紙



◎堂島アバンザ管理株式会社 様
カレンダー

◎P&G ジャパン合同会社 様

洗濯洗剤 JOY ファブリーズ タオル



◎一般社団法人ぐるーん

代表理事 河本美津子様

おせち料理

ノートパソコン3台

くるみ乳児院パンフレット

ショートステイ事業

(大阪市の事業)

くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。父母などが病気などで一時的にこどもの養育が困難になった時に宿泊をとまなうかたちでお預かりしています。利用年齢は2歳未満です。感染症の関係等でお預かりできないこともあります。詳細についてはお問い合わせください。

これからの行事予定

4月 お花見

5月 子どもの日

福祉のひろば

あなたも福祉が好きになる!!
そんな1冊を手にとってみませんか?



職員も福祉のひろばを使って
学びを深めています。

興味のある方は下記までお問い合わせください。

〒538-0054
大阪市鶴見区緑1丁目18-30
Tel 06-6180-5062
くるみ乳児院 福祉のひろば 係

くるみ乳児院

後援会

2025年度
会員募集

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切にす本当の社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。当法人の大阪府下の多くの施設で老朽化が進んでいますが、皆様のご協力で、これまでに12施設程の建て替えを、することができました。国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

今後も大阪福祉事業財団は、皆様のお心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ入会されていない方は、ぜひ入会していただきますよう、宜しくお願いいたします。

*個人会員 1口 3,000円 *団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援して下さる方は、くるみ乳児院(06-6180-5062)までご連絡ください。



くるみ乳児院だより

社会福祉法人大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 発行責任者 川守田 蘭美
〒538-0054 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL:06-6180-5062

第32号

◆くるみ乳児院のめざすもの◆

“子どもの権利条約”に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本としています。子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちに寄り添う養育を行っています。



「乳児院の役割を活かした子育て支援をめざして」

暖かな春の日差しとともに新年度がスタートし、新しい職員が2名加わりました。気持ち新たに、乳児院のこどもたちの健やかな育ちを見守りながら、事業を進めてまいりたいと思います。

さて、乳児院も春は別れと出会いがある季節です。小さかった赤ちゃんがタッチできるようになり、おしゃべりも上手になって、「行ってきます」「ただいま」と散歩に出かける様子を、ほほえましく見てきました。お家に帰り、保育園に行くことになる子や児童養護施設に異動して生活する子がいます。子どもたちは新しい環境で不安や戸惑いがあると思いますが、そばにいる人たちに大切にされて育つことを毎年祈っています。

2025年から2029年の間に社会的養育推進計画後期の策定を行い、施設はさらに家庭的環境が求められ、小規模かつ地域分散化を進めるように言われています。しかし、家庭に近い環境にし、小さい単位での生活を進めようとするれば、定員を下げることになります。

乳児院では、緊急にこどもをお預かりしなければいけないような状況で入所に至るなど、こどもの命を守ることが最優先の現場になっています。また、「仕事で出張に行くことになったが、ひとり親家庭でこどもを見てくれる人がいない」「こどもと少し離れてゆっくり休みたい」などショートステイを利用したいという相談が入ります。しかし、現在、大阪の乳児院はどこも満床となっており、ショートステイの預かりをしたくても、受け入れが難しい状況になっています。

このような状況で定員を下げようことは考えられません。こどもが安全、安心の環境の中で育つことができる機能を活かした乳児院の役割を守り、子育て支援を行っていきたいと思います。

施設長 かわもりた



あけましておめでとうございます



行きの車内で「これから神社におまいりに行くよ」と伝え
ると、よく分からず少し緊張している様子のこどもたち。神
社に到着して手を洗った後は、しっかりと両手でお賽銭を握
り、ガラガラをならして新年のあいさつをすることができま
した。「上手におまいりできたね」と話しながら、スーパー
で好きなおやつを買って帰りました。車の中に入ると安心し
たのか、「ガラガラしたね」「おやつ食べたいな」と達成感で
いっぱい表情で話してくれました。今年もこどもたちと一
緒に楽しいことをたくさんしていきたいと思います。

保育士 にしむら



おててパッチン
したよ!



わくわくどきどきなお出かけ

冬のお出かけでニフレルに行きました。(おでかけの場所はこどもに合わせて様々な場所に行きました。)
初めての水族館なのでどんな表情を見せてくれるか楽しみでした。
こどもも「どんなところだろう」とそわそわしながら向かいました。想像以上にとても楽しんでいて、
夢中になっている姿に来てよかったと思いました。

乳児院での経験が、「楽しかったな」と記憶に残るように、これからもこどもたちを見守っていき
たいと思います。

保育士 きんじょう



たくさんお魚
いるね!



健康で元気に過ごせますように

鬼退治
頑張ったね!



くるみ乳児院に、今年は青鬼さんが来ました。こども達
はボールを豆に見立てて豆まきをしました。鬼が来る前は
「鬼は外するからな!!」「(鬼さん) やっつけるぞ!」と
意気込んでいました。ところが、いざお部屋に鬼が入っ
てくると「イヤ!」「やめて!」と涙を流しながら大人の後ろ
や棚の後ろに隠れたり、抱っこを求めて大人にしがみつ
ながら鬼を覗き見たりしていました。そんなかわいい姿
以外にも、泣くのをこらえながらも勇敢にボールを投げ
て立ち向かうたくましい姿も見ることができました。

昼食は『大豆入りの鬼カレーと鰯のつみれが入ったス
ープ』を食べて今年も健康で元気に過ごせるようにと願
いました。

保育士 きりやま



鬼カレーを
みんなで食べたよ

ひなまつり

ひなまつりが近づいてくると、こどもたちはとても楽しみにしていたようで「あかりをつけま
しょ〜♪」とひなまつりの歌をうたっていました。ホールに飾ってある大きなひな人形にびっく
りするこどもたちもいましたが、こどもたちは「だいじだよ」と言って触らずにじーっとみつめて
いました。ひなまつり当日には、みんなでホールでお昼ご飯を食べました。かわいく盛り付けされ
たちらし寿司に目を輝かせながらたくさん食べました。ひな人形の前でみんなかわいく写真を撮
ることもでき、たのしい時間を過ごすことができました。

保育士 いしはら



ひなまつりのごはんが出たね!
おいしかったね!

